

平成30年度

施政方針 (抜粋)

府中町長 佐藤 信治

平成30年度は、3年次目となる「第4次総合計画」や4年次目の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げた政策、施策、事業を着実に実施しつつ、町民の皆さまにお約束した3つの宣言、「広島都市圏で一番子育てのしやすいまち」「志を育む教育のまち」「バランスのとれた行政施策の展開」を実現するための取り組みを随所に盛り込んだ予算としました。

■平成30年度予算

一般会計は、前年度に大型補償が集中した向洋駅周辺土地区画整理事業や保育所施設耐震化、小規模保育所整備助成事業などの減少により、前年度比13億5千4百万円（7.4%）減の総額168億8千4百万円です。

また、国民健康保険特別会計が県単位化により前年度比

10億7千9百万円減となったこともあり、一般会計と5つの特別会計を含めた全会計予算は、前年度比26億1千3百万円（8.4%）減の総額284億4千6百万円です。

■歳入

町税は、法人町民税の落ち込みがあるものの、個人町民税、固定資産税の増収が見込まれ、前年度比2千5百万円（0.3%）増の78億3千5百万円を計上しています。前年度の法人町民税の大幅な減少を反映して、地方交付税及び臨時財政対策債は、合わせて4億4千7百万円の増加を見込んでいますが、前年度予算に計上のあつた繰越金については、前年度決算の剰余が見込めなため計上していません。前年度に引き続き、財政調整積立基金の一部取り崩しなどにより財源を



確保し、中長期的な財政の健全化を担保するなかで、効率的で質の高い行政運営を行うことにより、着実なまちづくりを推進する予算としました。

■歳出

ハード面では、3大事業の1つに位置付けていた学校施設耐震化事業が府中中学校の新校舎完成をもって終了したため、残り2つの「向洋駅周辺土地区画整理事業」および「公共下水道事業」を継続するほか、前年度開始した府中公民館等改築事業は、基本設計を行うとともに実施設計に着手します。都市基盤の整備では、道

■3つの宣言に係る施策

①「広島都市圏で1番の子育てしやすいまち」

「ネウボラ・ふちゅう」を開設するとともに、母子保健の所管を健康推進課から子育て支援課に移行し、子育てに係る

業務の一元化を図り、安心して妊娠・出産・子育てができる切れ目のないサポート体制を強化します。病児・病後児保育事業では、新たに送迎サービスを開始し、育児と就労の両立支援を図ります。また、新生児の聴覚検査の費用や、特定不妊治療のための男性不妊治療の費用を助成します。

府中・南小学校区放課後児童クラブ（留守家庭児童会）は、既存施設の隣接地に新たな施設を建築します。

子育て世代向けの住宅リフォーム補助は、住宅金融支援機構と連携し、より利用しやすい制度にします。

② 「志を育む教育のまち」

引き続き学校運営改善推進事業を実施します。学校現場における業務改善を一体的・総合的に推進するとともに、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを重点的に配置し、充実した相談体制の確立に努めます。また、中学校の英語検定受験経費の助成対象を拡充します。地域力を学校教育に生かすコミュニティ・スクールについては、町内小・中学校7校全てで導入を目指します。

③ 「バランスのとれた行政施策の展開」

つばきバスを含む公共交通の利便性の向上を目的として「府中・町地域公共交通網形成計画」を策定します。また「第2次府中・町健康増進計画・食育推進計画」の中間見直しを行います。

国民健康保険特別会計では、県単位化への移行に伴い、国の財源拡充等により、一般会計からの法定外繰入は大幅な減少となります。

介護保険特別会計では、平成30年度から始まる「第7期介護保険事業計画」を円滑にスタートさせ、計画期間内の

事業を推進します。

安心安全のまちづくりでは、消防ポンプ自動車2台を更新するとともに、救急車3台に病院と画像をやりとりできる画像伝送装置を配備し、消防体制及び救急体制の充実・強化を図ります。災害対策では、避難所の機能充実を図るため、マンホールトイレを増設します。また、発災時の迅速な避難を支援するため、避難行動要支援者情報と地図情報を組み合わせた避難行動支援システムを導入するとともに、府中・東小学校区の土砂災害ハザードマップを作成します。環境分野では、平成32年に開催の「都市緑化ひろしま



より子育てしやすいまちを目指します

フェア」に向け、空城山公園の植栽管理を見直します。

商工振興では、新たに創業支援事業を開始し、町内での起業を促進します。

笑顔の役場創出として、更なる接遇研修を行うほか、役場執務環境の改善に引き続き取り組みます。また、人材育成として、公務に有益な推奨資格取得や自発的研修の支援を行います。

その他、男女共同参画、人権の推進、健康づくりなど幅広い住民ニーズに対応する、バランスの取れた行政施策を展開する予算としました。

また、こうした取組みや住環境等の魅力を町内外に効果的に情報発信する、魅力発信事業をさらに充実させます。

■ 誰もがよさを実感できる府中町に

これらの諸施策でしっかりと成果をあげ、誰もが「住んでよかった」「これからも住み続けたい」「住んでみたい」、そう実感できる府中町を目指して精一杯取り組んでまいりますので、住民の皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

※全文は、町ホームページに掲載しています。

平成30年度

当初予算

問 財政課 ☎ 286 - 3132

一般会計と特別会計の予算と前年からの増減率

区 分		平成30年度	平成29年度	増減額	増減率
一般会計		168億8485万7千円	182億3929万9千円	△13億5444万2千円	△7.4%
特別会計	土地取得	1万1千円	1万1千円	0円	0.0%
	国民健康保険	49億8407万4千円	60億6304万3千円	△10億7896万9千円	△17.8%
	下水道事業	20億1593万円	19億1711万円	9882万円	5.2%
	介護保険	38億4401万9千円	41億6266万5千円	△3億1864万6千円	△7.7%
	後期高齢者医療	7億1767万7千円	6億7775万8千円	3991万9千円	5.9%
合計		284億4656万8千円	310億5988万6千円	△26億1331万8千円	△8.4%

一般会計予算の構成

用語解説

【歳入】

町 税 町民税・固定資産税・都市計画税等、みなさんが納めるお金

国 庫 支出金 公共・福祉事業など特定の目的を行うために国から交付されるお金

町 債 施設や道路の整備など多額の費用がかかる場合に、国や銀行などから借りるお金

【歳出】

民生費 福祉の向上や子育て支援などに使うお金

土木費 道路・橋・町営住宅などの整備、維持に使うお金

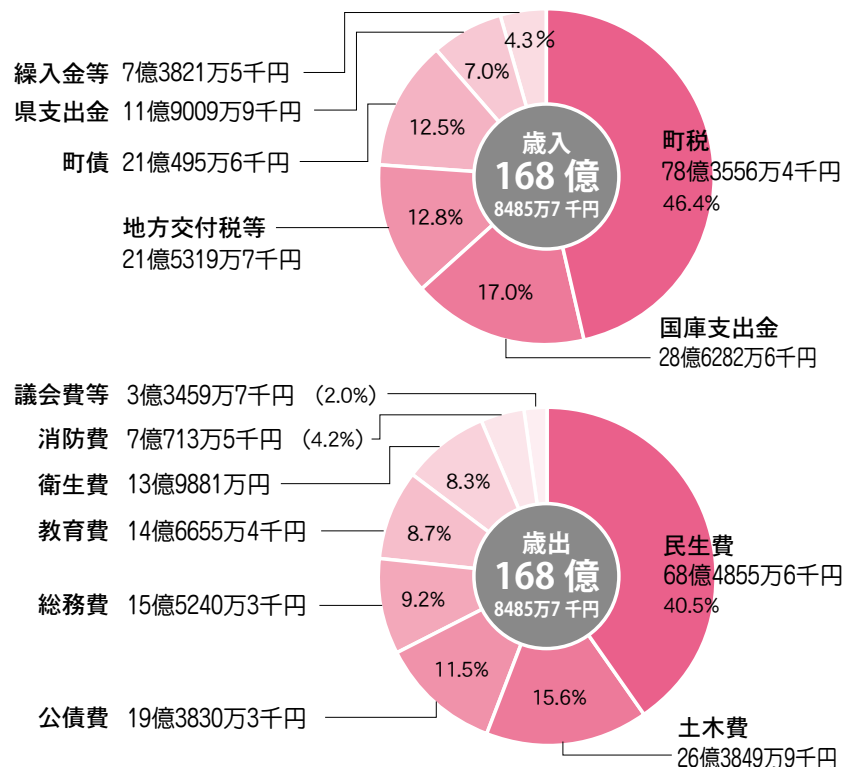
公債費 過去の町債(借りたお金)の返済に使うお金

総務費 行政運営・税徴収などに使うお金

教育費 学校教育やスポーツ振興などに使うお金

衛生費 健康・環境・ごみ処理などに使うお金

消防費 消防活動・災害対策などに使うお金



平成30年度 主要事業

問 財政課 ☎286-3132

まちの将来像である「ひとがきらめき まちが輝く オアシス都市 あきふちゅう」の実現に向け、まちづくりの指針である「第4次総合計画」の5つの基本目標ごとにまとめました。



●●●●● みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり

ネウボラセンター 事業 **新規**

1524万4千円

「ネウボラふちゅう」開設 妊娠・出産・子育てまで切れ目のないサポート体制を強化

「ネウボラふちゅう」として、相談支援の拡充や産前産後ケアなどの事業を行い、安心して妊娠・出産・子育てができる切れ目のないサポート体制を強化し、子育て家庭の負担の軽減を図るとともに、子どもの健やかな成長を支援します。(10ページをご覧ください)

病児・病後児 保育事業 **拡充**

1798万9千円

保育所等から病児保育室への送迎サービスを開始

病気や病後の子ども(生後6か月～小学校6年生)を、小児科医院内の病児保育室で一時的に預かります。また、新たに、送迎サービス(保育所などを利用中に体調不良となった児童を病児保育室の職員が迎えに行き、病児保育室において一時的に預かるサービス)を開始します。

母子健康診査事業 **拡充**

6336万8千円

新生児聴覚検査に対する費用助成を開始

妊婦・乳幼児に対し、各種健康診査を行います。聴覚障害の早期発見・早期療育を図るため、新たに、新生児聴覚検査の費用助成を行います。

不妊治療費助成 事業 **拡充**

992万5千円

男性不妊治療に対する助成を開始

不妊検査を含めた一般不妊治療と特定不妊治療(体外受精・顕微授精)に要する費用に対し、広島県が行っている一部助成に加え、町独自の助成を行うことにより、対象者の負担軽減を図ります。また、新たに、特定不妊治療を行うための男性不妊治療も助成の対象とします。

シルバーワークプラザ 改修等事業 **新規**

1048万円

シルバーワークプラザの屋根および外壁の改修など

シルバーワークプラザの屋根および外壁の改修を行います。また、冷暖房設備の更新を行います。

●●●●● 学び合い、志を育むまちづくり

学校運営改善推進事業 **拡充**

1144万1千円

学校現場の業務改善

教職員が子ども達と向き合う時間を確保するために、学校現場における業務改善の取り組みを一体的・総合的に推進します。また、中学校にスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを引き続き配置し、子ども達への学校生活における相談体制の充実を図ります。

放課後児童クラブ（留守家庭児童会）整備事業 **新規**

4708万8千円

府中南小学校区放課後児童クラブ（留守家庭児童会）に新たな施設を建築

府中南小学校区放課後児童クラブ（留守家庭児童会）の隣接地（むつみ福祉園跡地）に新たな施設を建築します。

府中公民館等改築事業

2810万円

債務負担行為
2040万2千円

府中公民館などの複合化に向け基本設計を実施

府中公民館、歴史民俗資料館及び消防団詰所の複合化に向け基本設計を行うとともに、実施設計に着手します。



救急隊員と救急救命士を養成(左)、小学校授業風景(中)、長年親しまれてきた府中公民館(右上)と歴史民俗資料館(右下)



●●●●● 誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり

創業支援事業 **新規**

250万円

広告デザイン料やオフィス誘致促進のための助成など創業希望者の支援

平成28年度に実施した創業支援ニーズの調査を基に設計した制度で、広告デザイン料、オフィス誘致促進のための助成、先輩起業家による相談により、創業希望者の支援を行います。

災害対策事業 **拡充**

2837万6千円

府中東小学校区土砂災害ハザードマップの作成、避難行動支援システムの導入

府中東小学校区土砂災害ハザードマップを作成します。また、発災時、避難行動要支援者に対し、迅速な支援等を実施するため、要支援者名簿と地図情報を組み合わせて管理する避難行動支援システムを導入します。

避難施設整備事業

2324万4千円

避難所のマンホールトイレ増設

避難所機能の充実を図るため、3か所の公共施設へマンホールトイレを設置し、小中学校と合わせて計10か所の整備を完了します。

救急体制強化事業 **拡充**

531万3千円

救急車への画像伝送装置の配備

増加する救急要請に対応するため、救急隊員と救急救命士を養成します。また、救急車3台に病院とつながる画像伝送装置を配備し、救急体制の充実・強化を図ります。



向洋駅周辺の様子

●●●●● 便利で活力と賑わいにあふれるまちづくり

補助街路整備事業
1億383万2千円

補助街路みくまり北小学校線(2期)の整備

災害に強いまちづくりと安全で良好な住環境の確保を目的に、補助街路みくまり北小学校線(2期)の整備を行います。

向洋駅周辺
土地区画整理事業
11億773万9千円

向洋駅南側の整備に向けた物件移転補償・道路築造工事等

向洋駅南側の整備に向けた物件移転補償および道路築造工事等を行います。

南小学校青崎東線
整備事業
3100万円

南小学校青崎東線の道路改良工事

南小学校青崎東線の道路改良工事を引き続き行い、事業認可区間の設備を完了します。

住環境改善事業
拡充
149万4千円

木造住宅の耐震診断・改修や子育て世代を対象とした住宅リフォームを行う費用の一部を補助

良好な居住環境の形成を図るため、木造住宅の耐震診断・改修や子育て世代を対象とした住宅リフォームを行う費用の一部を補助します。

公共下水道整備事業
3億3615万1千円

砂原第2処理分区の面的整備など

公共下水道の整備を促進するため、砂原第2処理分区において、面的整備を進めます。また、私道への公共下水道の排水施設設置制度を活用し、水洗化率の向上を図ります。

●●●●● 持続可能なまちづくり

広報公聴事業

993万円

「広報ふちゅう」の記事内容の充実・町公式ホームページの質の向上

誰もがわかりやすく親しめる情報を発信するため、「広報ふちゅう」の記事内容の充実を図ります。また、町公式ホームページの情報発信量の拡充と、質の向上に努めます。

魅力発信事業

181万4千円

町の魅力を町内外へ効果的に発信

当町の特長的な取り組みや住環境などの魅力を、さまざまなメディアなどを活用して町内外へ効果的に発信し、「住んでよかった、住んでみたい」まちとしての認知度の向上を図ります。